

広報

Reuse Reduce Recycle

# にしはりま

## 環境事務組合

Vol. 17

2012年3月31日発行

施設建設工事、順調に進んでいます！



2月末現在の進捗率約30%

施設外部の建設が進み、燃焼装置やボイラーなどプラント機器の据付工事も本格的に始まっています。



H23. 2 工事開始前の現場の様子

- にしはりま環境事務組合議会報告……2
- 財政状況の報告……3
- 資源ごみリサイクルワンポイント……3
- 施設クローズアップ……4
- 環境影響調査結果……6
- 主要経過……8

[www.nishiharima-kankyo.or.jp](http://www.nishiharima-kankyo.or.jp)

# にしはりま環境事務組合議会

## 第19回定例会

■月日 平成23年8月24日(水)  
 ■場所 県立先端科学技術支援センター  
 本議会では、平成22年度歳入歳出決算の認定をはじめ、監査委員の選任、平成23年度補正予算の審議が行われました。

## 認定

平成22年度一般会計歳入歳出決算の認定 【認定】  
 (歳入総額) 2億4,336万8,289円  
 (歳出総額) 2億3,858万3,281円

## 同意

組合監査委員の選任同意について 【同意】

## 議案

平成23年度一般会計歳入歳出補正予算 (歳入歳出予算補正額) 【可決】  
 歳出予算額の組替により、増減無し。

## 第20回定例会

■月日 平成24年2月22日(水)  
 ■場所 県立先端科学技術支援センター  
 本議会では、平成23年度補正予算及び平成24年度当初予算の審議が行われました。

## 議案

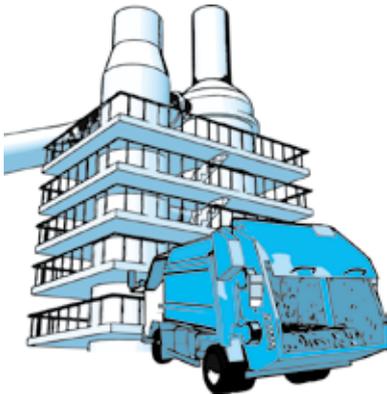
①平成23年度一般会計歳入歳出補正予算 (歳入歳出予算補正額) 【可決】  
 4億8,597万3千円を減額  
 歳入歳出総額  
 27億677万4千円

②平成24年度一般会計歳入歳出予算 (歳入歳出総額) 57億9,967万3千円 【可決】

## ●組合議員名簿(議席順)

平成24年3月現在(敬称略)

氏名	選出市町
天野 文夫	姫路市
松岡 廣幸	姫路市
今川 明	たつの市
小寺 昭男	たつの市
高山 政信	宍粟市
伊藤 一郎	宍粟市
東 豊俊	宍粟市
岡田 初雄(監査委員)	宍粟市
村上 昇	上郡町
山本 守一(議長)	上郡町
新田 俊一	佐用町
鍋島 裕文	佐用町
西岡 正	佐用町
矢内 作夫(副議長)	佐用町



# にしはりま循環型社会拠点施設 環境保全委員会



## 第5回

■月日 平成24年3月23日(金)  
 ■場所 県立先端科学技術支援センター

環境保全委員会は、にしはりま循環型社会拠点施設の稼働に伴う周辺環境の保全を図ることを目的に設置されています。  
 委員会での、主な報告・協議内容は次のとおりです。

## ◆報告・協議

- ① 主要経過について
- ② 平成23年度事後監視調査結果について
- ③ 熱回収・リサイクル建設工事について
- ④ 平成24年度事後監視調査について



# 平成22年度 決算と主な実施事業について

## ◎平成22年度 一般会計歳入歳出決算

決算額は、歳入 2億4,336万8,289円、  
 歳出 2億3,858万3,281円で、  
 歳入歳出差引額 478万5,008円を翌年度へ  
 繰り越しました。

## ◎歳入・歳出の内訳

〔歳入〕	
分担金及び負担金	1億2,505万3,776円
国庫支出金	3,790万7,000円
繰越金	362万8,224円
諸収入	237万9,289円
組合債	7,440万0,000円
〔歳出〕	
議会費	45万3,503円
総務費	6,665万0,585円
施設整備事業費	1億5,947万3,515円
公債費	1,200万5,678円

◎22年度末 起債残高 10億1,750万0,000円

## ◎主な実施事業

- 事後監視調査・・・施設建設工事中における振動・騒音調査を年1回及び調整池下流域の4箇所で見守り調査を年4回実施しています。
- 環境保全委員会・・・学識経験者、周辺地域住民代表（三原、三ツ尾、東大畑、西大畑、久保、弦谷）、組合圏域住民代表（姫路市、たつの市、宍粟市、上郡町、佐用町）、兵庫県行政職員等で組織した委員会に工事中における事後監視調査の結果の報告等を実施しています。
- 周辺地域連絡協議会・・・建設地周辺6集落（三原、三ツ尾、東大畑、西大畑、久保、弦谷）へ施設整備推進の主要経過、施設建設における工事進捗状況等の報告を行っています。
- 施設建設工事・・・平成23年3月より熱回収施設・リサイクル施設の建設工事が始まりました。

# 資源ごみのリサイクル

## ワンポイント

新施設では、限りある資源を有効に利用するため、資源ごみのリサイクルに取り組みます。今回は、分別の際に参考にさせていただき、識別表示を中心に紹介します。

### 👉プラスチック製容器包装



カップ・パック類、チューブ・ボトル類、菓子袋などについています。

**ワンポイント** ポリバケツ・玩具など製品自体がプラ製のものは対象外です。

### 👉紙製容器包装



紙箱、紙パック、包装紙などについています。

**ワンポイント** 写真や感熱紙タイプのシートなどは対象外です。

### 👉紙パック



牛乳パック、ジュースなどについています。

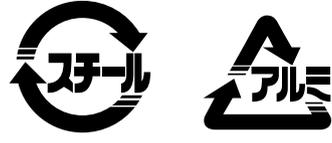
**ワンポイント** 裏がアルミでコーティングされたものは紙製容器包装です。

### 👉ペットボトル



飲料、酒類、調味料が入ったペットボトルについています。

### 👉缶類



スチール、アルミ製の缶についています。

### 👉布類

衣料品、タオル、タオルケットなどを対象としますが、次のものは対象外です。

- ①濡れたままのもの
- ②油、ペンキ、泥で汚れたもの
- ③下着類
- ④ダウンウェアやスキーウェア等綿の入った冬物衣料
- ⑤靴やカーペット、カーテン、布団など



※H25.4からの取扱いです。H25.3までの分類は、各市町にご確認ください。

# 新施設を紹介します



周囲の景観に配慮し、木の色をイメージした濃色と清潔感のある白を基調色としています。また計量棟からリサイクル施設への屋根勾配は、周辺の山並みの稜線に溶け込んでいくデザインが特徴となっています。

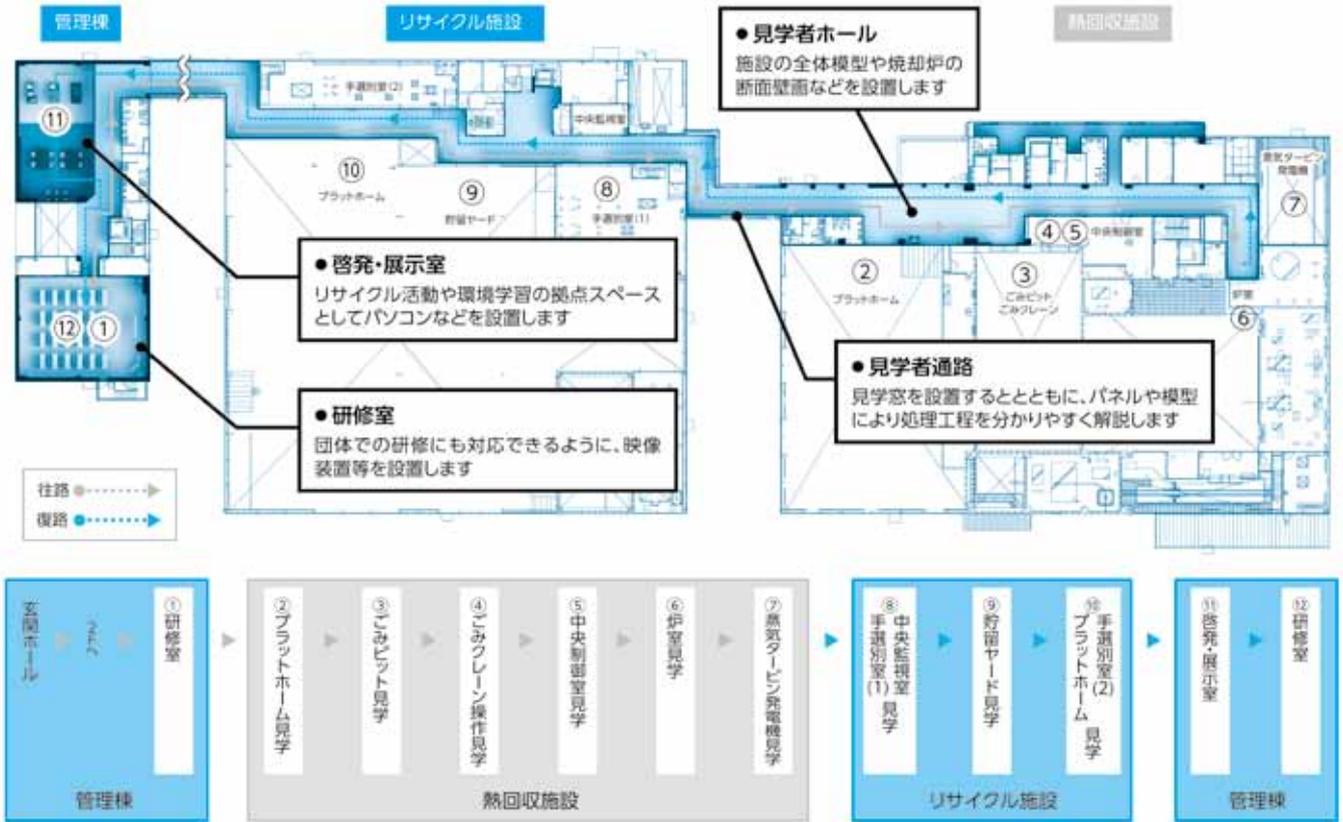


管理棟の2階は啓発・展示施設です。できるだけ木製品を使用し、やさしい雰囲気の中で、環境に関する様々な情報を提供し、地域の環境学習の拠点となる施設を目指します。

管理棟に併設される工房棟は、リサイクル施設に集まった粗大ごみなどから、自転車や家具を再生するための施設で、再生品は啓発施設で展示するなど、リサイクルの具体的な取り組みのひとつとして活用していきます。

管理棟内部のイメージ

◎工事の進捗状況は組合ホームページ「工事だより」で紹介していますので、ぜひご覧ください。



## 施設見学のながれ

スタートは管理棟2階の研修室(①)です。ここでは施設の概要を紹介した映像などをご覧ください。

### 【熱回収施設】

プラットフォーム(②)では、ごみ収集車により集められた燃やすすごみが、ごみピット(③)に投入される様子をご覧ください。

中央制御室(⑤)では、様々なデータや施設内の映像を見ながら、施設の運転状況を管理する様子や、ごみピットからごみ投入ホッパーにごみを移す作業(④)を見学していただきます。

炉室(⑥)では焼却施設の主要機器や、電気をつくる蒸気タービン発電機(⑦)をご覧ください。

### 【リサイクル施設】

リサイクル施設では、ごみ収集車により集められた不燃ごみや資源ごみなどを、作業員が手選別室(⑧)で異物を取り除く様子や、圧縮機、梱包機などリサイクル施設の主要機器をご覧ください。

その他にも、見学者通路には処理工程の解説パネルや模型を準備するほか、環境学習ゲームのコーナーも設置する予定です。

## 供用開始までの予定

平成24年10月 受電

平成24年11月 試運転開始

平成24年12月 ごみ搬入開始

\* 試運転期間中は一般の方の  
持ち込みは出来ません

平成25年2月 性能試験

平成25年3月 竣工

\* 一般の方の持ち込み方法や、受け入れ方法などは今後組合広報やホームページ等を通じてお知らせいたします。



□平成 23 年度 環境影響調査内容

環境要素	調査項目	調査時期(頻度)	
騒音	建設作業騒音	1回/年毎最盛期	
振動	建設作業振動	1回/年毎最盛期	
水質汚濁	調整池出口	濁度、透視度	随時
		流量、PH、SS	1回/3ヶ月(年4回)
	河川	流量、PH、SS	1回/3ヶ月(年4回)
植物	貴重種の生育状況確認	随時	
	自生地・移植先の環境調査及び移植		
動物	貴重種の生息状況確認		
	生息地周辺・移植先の環境調査及び移植		
大気汚染	気象・大気汚染物質、ダイオキシン類等	2回/(秋・冬季)	



平成23年

環境影響調査

(事後監視調査) 結果

▷騒音結果表(単位: dB)

年度	調査日	調査場所	測定値	環境保全目標値	
平成 23 年度	平成 23 年 12 月 13 日 (火)	集 落	三ツ尾地区	30未満	55
			三原地区	37	55
		工事範囲境界	久保方面	43	85
			工事敷地境界	三ツ尾方面	46
		進入道路敷地境界		40	85

○全ての調査地において、環境保全目標値を下回る値です。  
 \* 測定値は、8時~17時の測定平均値です。  
 \* 環境保全目標値は、生活環境影響調査結果報告書に示されている値です。

▷振動結果表(単位: dB)

年度	調査日	調査場所	測定値	環境保全目標値	
平成 23 年度	平成 23 年 12 月 23 日 (火)	集 落	三ツ尾地区	30未満	75
			三原地区	30未満	55
		工事範囲境界	久保方面	30未満	75
			工事敷地境界	三ツ尾方面	30未満
		進入道路敷地境界		30未満	75

○全ての調査地において、環境保全目標値を下回る値です。  
 \* 測定値は、8時~17時の測定平均値です。  
 \* 環境保全目標値は、生活環境影響調査結果報告書に示されている値です。

▷水質調査結果表

調査日	調査場所	測定値						SS 環境保全目標値
		流量 (m³/S)	濁度 (度)	透視度 (度)	PH	SS (mg/l)		
平成 23 年 5 月 11 日 (雨: 71.5mm/日)	調整池下流	0.037	17	32	7.5 (20.3°C)	11	100	
	八町川上流	0.124	28	20	7.8 (20.5°C)	38	100	
	八町川流末	0.126	37	18	7.8 (20.9°C)	41	100	
	鞍居川流入部	0.381	29	17	7.8 (20.5°C)	39	100	
	国光自治会流域	2.183	29	16	7.7 (20.1°C)	36	100	
平成 23 年 7 月 7 日 (雨: 85.5mm/日)	調整池下流	0.043	12	28	7.9 (20.3°C)	14	100	
	八町川上流	0.188	39	13	8.1 (19.8°C)	40	100	
	八町川流末	0.203	35	10	8.1 (20.1°C)	38	100	
	鞍居川流入部	1.251	43	9	8.2 (20.2°C)	44	100	
	国光自治会流域	2.923	31	11	8.0 (20.0°C)	35	100	
平成 24 年 1 月 20 日 (曇)	調整池下流	0.003	3.7	50以上	7.7 (20.8°C)	2	100	
	八町川上流	0.019	6.5	50以上	7.7 (20.3°C)	1	100	
	八町川流末	0.026	3.5	18	7.9 (20.5°C)	2.5	100	
	鞍居川流入部	0.035	1.3	2.9	8.0 (20.8°C)	7	100	
	国光自治会流域	0.441	4.2	50以上	7.8 (20.6°C)	2	100	
平成 24 年 2 月 7 日 (曇)	調整池下流	0.004	7	4.5	7.3 (20.4°C)	6	100	
	八町川上流	0.014	1.4	2.4	7.5 (20.6°C)	1.4	100	
	八町川流末	0.015	2.7	4	7.6 (20.7°C)	3.5	100	
	鞍居川流入部	0.073	1.1	6	7.8 (20.9°C)	1.07	100	
	国光自治会流域	1.650	8.8	3.5	7.7 (20.7°C)	7	100	

○SS値は、平成24年2月7日調査において、一部の地点において環境保全目標値を超えている地点がありました。その日以外は全ての調査地において、環境保全目標値を下回る値です。  
 \* 環境保全目標値は、生活環境影響調査結果報告書に示されている値です。



□大気汚染物質の説明と測定方法

大気汚染物質		各物質の説明(環境影響など)	測定方法
窒素酸化物	二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	窒素酸化物は、ものの燃焼や化学反応によって生じる窒素と酸素の化合物で、主として一酸化窒素 (NO) と二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> ) の形で大気中に存在する。発生源は工場・事業場、自動車、家庭等多様多様である。発生源からは、大部分が一酸化窒素として排出されるが、大気中で酸化され二酸化窒素になる。 二酸化窒素は高濃度で呼吸器に影響を及ぼすほか、酸性雨及び光化学オキシダントの原因物質となると言われている。	化学発光法
	一酸化窒素 (NO)		
	窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> )		
二酸化硫黄		石油、石炭等を燃焼したときに含有される硫黄 (S) が酸化されて発生するもので、高濃度で呼吸器に影響を及ぼすほか、森林や湖沼に影響を与える酸性雨の原因物質になると言われている。	紫外線蛍光法
浮遊粒子状物質		浮遊粉じんのうち、10μm以下の粒子状物質のことをいい、ボイラーや自動車の排出ガス等から発生するもので、大気中に長時間滞留し、高濃度で肺や気管に沈着して呼吸器に影響を及ぼす。	ベータ線吸収法
一酸化炭素		炭素化合物の不完全燃焼等により発生し、血液中のヘモグロビンと結合して、酸素を運搬する機能を阻害するなどの影響を及ぼすほか、温室効果ガスである大気中のメタンの寿命を長くすることが知られている。	非分散赤外線吸収法
光化学オキシダント		大気中の窒素酸化物や炭化水素が太陽の紫外線を受けて化学反応を起こし発生する汚染物質で、光化学スモッグの原因となり、高濃度では粘膜を刺激し、呼吸器への影響を及ぼすほか、農作物など植物への影響も観測されている。	紫外線吸収法
ダイオキシン類		有機塩素化合物の一種であるポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンとポリ塩化ジベンゾフランに、コプラナー-ポリ塩化ビフェニルのようなダイオキシンと同様の毒性を示す物質を加えて、ダイオキシン類と呼ぶ。	ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル

▷大気質調査結果

調査項目		調査時期		環境基準値
		秋季	冬季	
二酸化窒素	日平均最高濃度 (ppm)	0.004	0.005	0.06
二酸化硫黄	日平均最高濃度 (ppm)	0.007	0.009	0.04
浮遊粒子状物質	日平均最高濃度 (mg/m <sup>3</sup> )	0.031	0.021	0.1
一酸化炭素	日平均最高濃度 (ppm)	0.37	0.31	1.0
光化学オキシダント	1時間最高濃度 (ppm)	0.043	0.04	0.06
ダイオキシン類	(pg-TEQ/m <sup>3</sup> )	0.0094	0.0048	0.6
風向	期間内最多風向 (方位)	NNE	N	—
風速	期間内平均風速 (m/s)	1.3	2.3	—

- 全ての項目について、環境基準値を下回る値です。
- \* 調査地点：たつの市新宮町光都地区
- \* 秋季：平成 23 年 11 月 8 日(火)～平成 23 年 11 月 14 日(月)
- \* 冬季：平成 24 年 1 月 22 日(日)～平成 24 年 1 月 28 日(土)

川をきれいに!

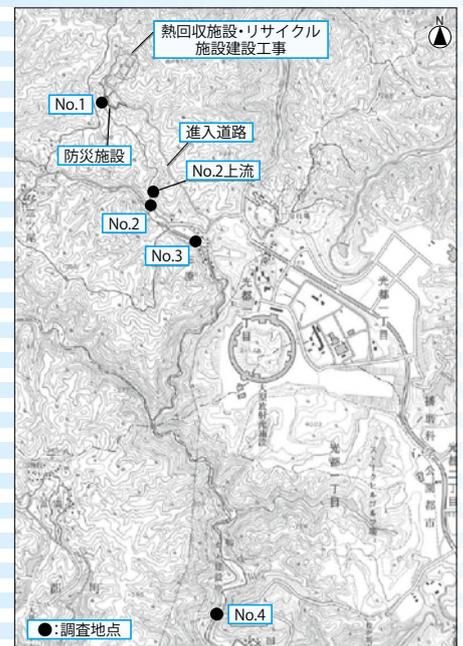
工事区域内の貴重植物・貴重動物調査

移植先での生育状況等を確認して貴重種の保護等に努めています。

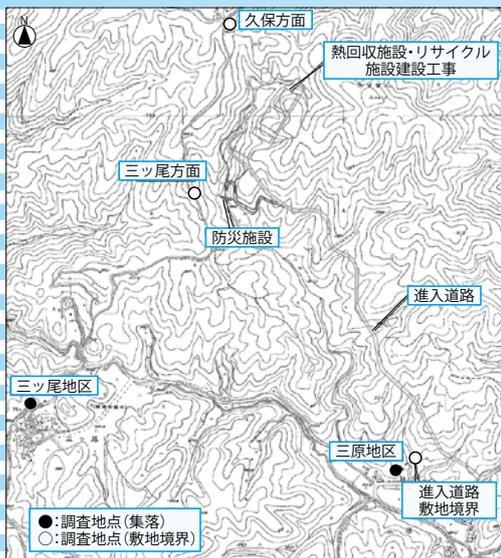


貴重植物(移植後)の生育状況確認(H23.6.24)

調査地点図(水質)



調査地点図(騒音・振動)



調査地点図(大気汚染)



## 主要経過

(平成24年3月末現在)

[平成23年]

- 4月 1日 「循環型社会拠点施設運営事業者選定業務」入札公告
- 4月 9日 光都21自治会役員建設工事視察
- 4月28日 「循環型社会拠点施設運営事業者選定業務」入札
- 5月11日 建設工事期間中における水質調査
- 5月22日 光都2-3自治会、4期自治会 建設工事説明会
- 7月 7日 建設工事期間中における水質調査
- 7月 8日 宍粟市環境保全協議会 建設工事視察
- 7月 9日 光都4期自治会 建設工事説明会
- 7月21日 組合決算監査
- 8月 8日 正副管理者会議
- 8月11日 議会運営協議会
- 8月24日 議会全員協議会、第19回にしはりま環境事務組合定例議会
- 8月31日 光都21自治会 住民説明会
- 9月16日 佐用町議会議員建設工事視察
- 11月24日 たつの市新宮地域まちづくり協議会建設工事視察
- 10月25日 光都4期自治会 建設工事説明会
- 10月28日 第1回運営事業者選定委員会
- 11月 1日 第30回周辺地域連絡協議会
- 11月 8日～14日 光都地区大気質調査
- 11月20日 佐用町周辺集落自治会住民建設工事視察
- 12月13日 建設工事期間中における騒音・振動調査



宍粟市環境保全協議会 視察

[平成24年]

- 1月 6日 宍粟環境事務組合議会建設工事視察
- 1月20日 建設工事期間中における水質調査
- 1月22日～28日 光都地区大気質調査
- 1月23日 第2回運営事業者選定委員会
- 2月 2日 佐用町甲大木谷集落建設工事視察
- 2月 3日～14日 建設工事進捗状況報告(佐用町周辺集落自治会)
- 2月 9日 正副管理者会議
- 2月13日 新宮地域ごみ分別等検討委員会建設工事視察
- 2月15日 議会運営協議会
- 2月22日 議会全員協議会、第20回にしはりま環境事務組合定例議会
- 3月 4日 佐用町三日月上・下自治会建設工事視察
- 3月11日 佐用ライオンズクラブ建設工事視察
- 3月23日 第5回環境保全委員会



佐用町周辺集落自治会住民 視察

## 事務局だより

◆施設の供用開始まであと一年。秋には試運転も開始する予定で、この計画もいよいよ終盤を迎えます。この間、平成の大合併など、組合や構成市町を取り巻く環境も大きく変化しましたが、ここまで整備を進めることができたことは、皆さまのご理解とご協力があったからこそ、改めて感謝を申し上げます。◆事務局では施設の安全・安心はもちろん、より効率的な施設運営を目指し、「長期包括的民間委託」による運営を計画しており、今後具体的な運営事業者の選定を進めていくこととしております。◆この機会に資源ごみの分別収集が始まる市町の皆さまには、ごみの分別方法や出し方の変更など、お手数をお掛けしますが、組合ではこれからも地域の循環型社会拠点施設として、より親しまれる施設を目指して取り組みを進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

施設や工事の進捗状況について、ご質問等がありましたらお気軽に事務組合までお尋ね下さい。